

2013年1月16日 第38期 No.10-439

事務局 〒270-1143 我孫子市天王台3-7-1-201 和田三千代方 TEL 04-7183-1434

<http://www.abikoshi-syouthisyanokai.net/wp/>

明けましておめでとうございます。1月8日に定例会を行いました。皆さんから「今年、私は・・・」と題してお話をいただきました。それぞれにとっても前向きなお話ばかりで、楽しい時を過ごしました。今年もよろしく願います。

### 「来年のために」七草がゆの作り方

今年の1月7日、アビシルベ前で七草がゆを市民に提供して下さった中に、会の杉本さんがいらっしやいました。次の日の消費者の会の定例会で、「おいしい七草がゆの作り方」を教えてくださいました。来年のためと言わずとも、おなかを休めたいときにお勧めです。

洗い米 1カップ

水 600cc~700cc

塩 小さじ1 (少なめでも)

- ・土鍋に水を沸騰させてから米と塩を入れる。
- ・再沸騰したら中火の強くらいにし、底に焦げ付かないように木べらでゆっくりかき混ぜる。
- ・米が柔らかくなったら水を200cc足し、用意した七草を入れ、再沸騰したら火を止め、ふたをして10分蒸らす。味を調える。
- ・七草は細かく切って下茹でしておく。

この湯炊きの方法はお米が糊状にならず、形が残るのが特徴。京都の料亭の朝がゆの作り方だそうです。

### ちよいとお待ち 講演と落語

とき 25年1月20日(日) 13:30~16:00

会場 アビホール(イトーヨーカドー3F)

開場 13:00 入場無料

準備を進めています。後は入場者がどのくらいか???が一番の心配です。会員の方は万障お繰り合わせ、ぜひ参加してください。

### バス見学会のお知らせ

25年1月29日(火) 集合8:20 ふれあい広場  
帰着16:40の予定

見学先・中国木材(株)神乃池バイオマス発電所  
・サミットウィンドパワー(株)鹿島発電所  
バイオマスの見学がありますので、ズボンと、歩きやすい靴でお出かけください。

参加申込み 7184-5480 栗原 7183-1434 和田  
現在27名申込み、後2~3名は大丈夫です。  
是非ご一緒に。最終は1月22日まで。

### 第37回我孫子市消費生活展

テーマ 子どもたちに明るい未来を

日時 2月10日(日) 11日(月・祝)  
10時30分~16時

会場 あびこ市民プラザ(旧エスパ3F)

9団体と消費生活センターが力を合わせ、昨年の4月から実行委員会をつくり検討してきました。

放射能問題、再生可能エネルギー問題、温暖化防止、食べ物の安全、せっけん、ごみ等々、各団体が、子どもたちのために明るい社会を作って行きたいと提案しています。あなたにもきっとできることがあると思います。ぜひご参加ください。チラシを配布します。

### 講演会 いのちはぐくむ農と食

~放射能とガンから身を守る発酵食品の力~

日時 1月24日(木) 13:30~15:30

開場 けやきプラザ ふれあいホール

講師 小泉 武夫氏 東京農大名誉教授

主催 食農倶楽部 後援 消費者の会 他



## 2月定例会

2月4日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室  
ドイツ映画「みえない雲」(DVD)を1時間40分見ます。

この映画は2006年にできたもの。「福島」の痛みを忘れかけている人がいたら、ぜひ、この映画を一緒に観てください。とあります。推薦していらっしゃる方の言葉を転載します。

**飯田哲也(環境エネルギー政策研究所所長)**

公開当事に見ました。あのとき福島にいなかった全ての日本人が見るべき映画だと思えます。この映画が描く悲劇を現実を起こしてしまった日本で、過ちを再びくり返さないためにも。

**小出裕章(京都大学原子炉実験所助教)**

原発から放出される放射能は「みえない雲」となって流れてきます。被曝を避けなければ、見えないものの向こうにあるものを見るしかない。心の目を開きみえないものをまき散らす正体と闘いたい。

**池田香代子(ドイツ文学翻訳家)**

3. 11の原発事故は数々の幸運と人々の努力により辛くも現状にとどまっているだけだ。想像してほしい、次に原発事故が起きたら、その時こそはあなたの町がこうなるかもしれない、と。

これは「通販生活」の定期購読者にプレゼントされた映画です。

## 食品の放射能測定の実験から見える事 ~生産者と消費者の間に立って考える~

日時 1月26日(土) 14:15~16:15

場所 柏 京北ホール(京北スーパーの6階)

講師 榎田 博さん(生活クラブ生協品質管理)

主催 食の安全と環境を考える会

## 3月定例会の予告

3月4日(月) 13:30~16:00

我孫子南近隣センター 8F 調理室



## 高齢社会への対応を探る会のイベント

### 大震災の時の

### 「共助・近助」を考えましょう!

日時 2月3日(日) 13:30~16:00

会場 「アビスタ」ホール 先着150名

無料

日程 ・DVD上映 「いざに備えて考えよう」  
(20分)

・報告 DVD取材・制作者 坂本富彦

・つくし野西自治会自主防災会

大村靖明

・布佐平和台自治会防災委員会

河上徹夫

・「改訂版 地域防災計画について(骨子)

我孫子市市民安全課課長 海老原三男

主任 酒井健一郎

・意見交換

チラシを配布します。あなたの自治会や防災委員会の方にお届けください。もちろんあなたのご参加をお待ちしています。

## 「ヒロシマ原爆地獄」が 平和・協働ジャーナリスト基金奨励賞に

はじめにドイツで出版された上記の本が、その後日本語版と日英対訳版になり、12月15日に表彰されました。

ドイツ語版が出たときにお知らせしたと思いますが、不思議なご縁からこの中に、和田が「戦争の記憶(2000年に消費者の会で発行)」に書いた「父の原爆死」という文章が掲載されています。(我孫子市民図書館にあります)

この本をつくろうと思ったきっかけを、編者の河勝重美さんが受賞記念会で話してくださいました。河勝さんは電機メーカーのドイツ支社長として50年ドイツに滞在された方です。

「ドイツではナチのやったことは今でも毎週のようにテレビで放映され、子ども達に伝えられる。日本が受けた原爆を含め、日本軍がやったことも、日本ではその時期に少しだけしか知らされない。日本でそうだから、ドイツでは原爆の実態はほとんど知られていない。核兵器の恐ろしさをもっと世界に発信しなければいけないと思った。」と。ドイツではすぐ出版社が受けてくれたが、日本では自費出版しているとも。

この表彰式の模様が12月25日の毎日新聞で報道されましたので、裏面に印刷します